



# 効率的・効果的な基盤整備

経済の活性化・暮らしの向上を目指した  
県土マネジメントの推進

主担当部局：県土マネジメント部



一般国道309号丹生バイパス開通(下市町)

## 目指す姿

経済の活性化、暮らしの向上を図るため、「選択と集中」により、社会資本の管理、活用、整備をマネジメントし、安全・安心のための県土整備、交通環境の充実を図ります。

### 目標

平成31年度までに、「選択と集中」による**道路整備**を推進し、

**15カ所**  
を供用します。

(平成28年7月時点完了宣言箇所)

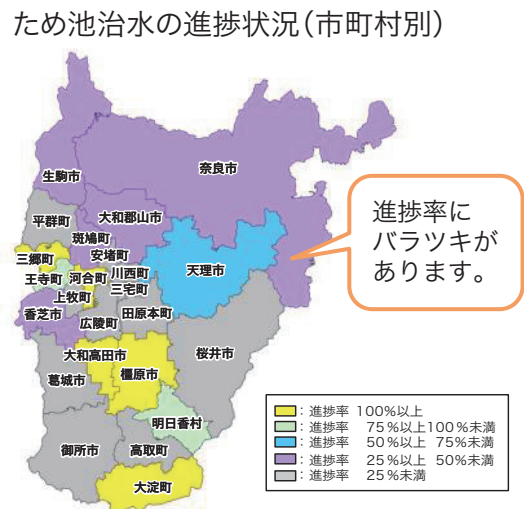
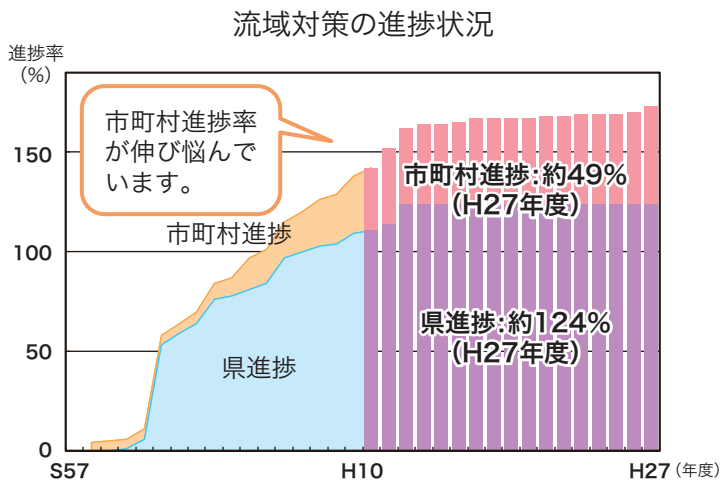
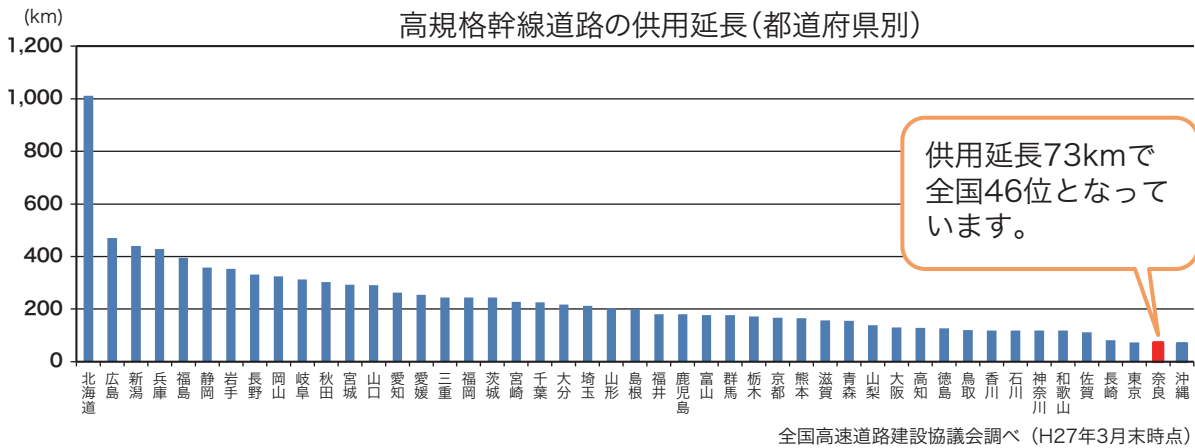
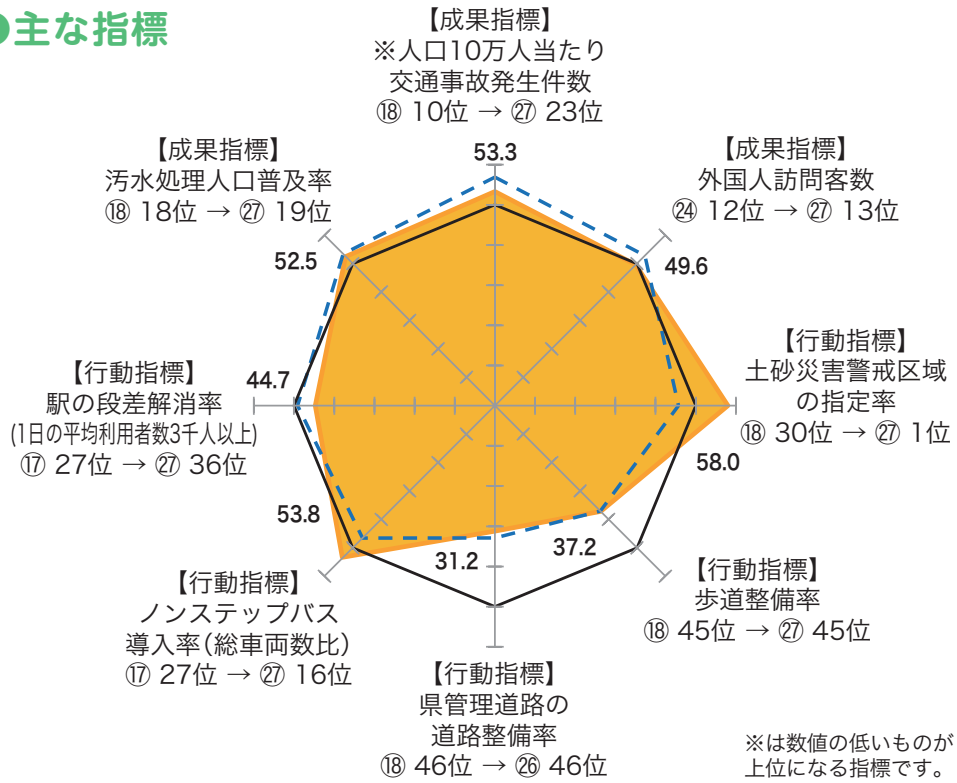
平成31年度までに、浸水常襲地域において**被害軽減のための減災対策**を推進し、

**概ね7割**  
の地域で対策を完了します。

(平成27年3月末:50カ所(52%)で対策完了)

分析

● 主な指標



大和川流域総合治水対策協議会調べ (H28年3月時点)

# 戦略 1

## 企業立地の支援、観光の振興等、地域経済の発展に寄与する基盤整備を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

### 戦略目標

- ▶ 国への働きかけにより、京奈和自動車道の整備による県内の高規格幹線道路の整備を促進します。
- ▶ 快適で便利な交通環境の実現を目指します。
- ▶ 地域資源を活用したにぎわいの拠点づくりを推進します。

### 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>骨格幹線道路ネットワークの形成</b>				
京奈和自動車道の整備促進		大和北道路・大和御所道路の整備促進		
IC等アクセス道路の整備推進		整備の推進		
<b>企業立地の支援・観光振興に資する道路整備の推進</b>				
産業集積地へのアクセス道路の整備推進		整備の推進		
「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」に基づく渋滞対策の推進		渋滞対策の推進、効果検証、対策箇所の見直し		
道路の無電柱化の推進		整備の推進		
<b>企業立地環境の向上に資する総合治水対策の推進</b>				
		対策の推進		
<b>奈良の魅力を一層高める交通環境の充実</b>				
ぐるっとバスの運行		主要鉄道駅と奈良公園や平城宮跡等の観光拠点を結ぶバスの通年運行		
市街地郊外の駐車場を用いたパークアンドバスライド		春秋の観光シーズンに実施		
(仮称)登大路バスターミナルの整備		整備の推進		4月オープン(予定)
大宮通りの修景整備		イルミネーション、花壇、街路樹による修景整備		
広域的な自転車利用ネットワークの整備推進		京奈和自転車道の整備推進		
観光案内サインの充実		統一した案内表示の整備推進		

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>リニア中央新幹線の建設促進</b>				
				「奈良市附近」駅位置の早期確定及び三重・奈良ルートの早期実現に向けた要望活動・地元自治体がJR東海から求められる協力事項の先行検討
<b>大宮通りを軸とした観光拠点施設の整備</b>				
奈良公園基本戦略に基づく事業の推進		整備の推進		
地域活性化総合特区指定による奈良公園エリアの更なる魅力向上		整備の推進		
大宮通り新ホテル・交流拠点の整備推進	設計		整備の推進	
拠点ゾーンの整備促進		整備の推進		(平成29年度末 朱雀大路西側地区等 完成予定)
<b>都市公園等のマネジメントの推進</b>				
都市公園等の適正管理・利活用の推進		施設整備、公園管理、利活用の推進		
飛鳥宮跡の利活用の推進		飛鳥宮跡活用構想の検討・策定		
馬見丘陵公園のにぎわいづくり		季節ごとのイベント開催、花のパノラマ景観づくり、県民協働花壇の設置		

効率的・効果的な基盤整備



ぐるっとバス(若草山麓バス停)



馬見丘陵公園(広陵町、河合町)

## 戦略 2

### 日常生活の利便性・快適性向上を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 道路環境課

#### 戦略目標

- ▶ 奈良県安心歩行空間整備方針に基づき、安全な歩行空間を確保し、**歩道整備率を向上**させます。(平成27年度:25.75%)
- ▶ 市町村や交通事業者、地域住民等と連携・協力のもと、**誰もが安心して暮らせるモビリティ(移動の利便性)の確保**を目指します。
- ▶ 地域の住民や企業との協働による快適な道路空間の維持・向上に向けての取組として、平成31年度までに「**みんなで守ロード**」事業の参加団体を**108団体に拡充**します。(平成27年度:96団体)
- ▶ 生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目指し、平成31年度までに、**汚水処理人口普及率を92.0%**にします。(平成26年度:87.5%)

#### 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>無電柱化の推進</b>		整備の推進		
<b>骨格幹線道路ネットワークの形成</b>		整備の推進		
<b>生活利便の向上に資する道路整備の推進</b>		整備の推進		
<b>歩行空間の確保とバリアフリーの推進</b>		整備の推進		
<b>移動ニーズに応じた交通サービスの実現</b>		整備の推進		
奈良県公共交通基本計画の実施				
・奈良県地域交通改善協議会における取組		PDCAサイクルによる交通サービスの取組の検討等		
・公共交通ネットワークの確保		関係市町村・交通事業者等との協議、施策の推進 連携協定に基づく奈良交通(株)との協議、施策の推進		
・地域における生活交通の確保		地域における持続可能な公共交通の確保		
・公共交通の利用環境の整備		バスロケーションシステムの整備		
鉄道駅等のバリアフリー化		駅・周辺主要施設における移動空間の整備推進		
ノンステップバスの導入促進		バス利用環境の向上		

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>30 主要プロジェクト アセットマネジメントの推進</b>				
効率的・効果的な維持管理体制の確立				
・社会資本の維持管理における包括管理契約の導入		対象の拡大、推進		
・社会資本の維持管理におけるボランティア活動等、県民との協働の推進		協働の推進		
・協定締結等による民間企業等との連携推進		災害時における対応や河川管理での連携の推進		
・県民からの要望等の分析・活用の推進		分析・活用の推進		
<b>効率的な下水道運営の推進</b>				
		施策の推進		



過疎地域等における基幹的な生活交通の確保(十津川村)



幅員狭小、線形不良の解消(下市町)

# 戦略 3

## 災害への備え等強靱な県土整備を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 河川課

### 戦略目標

- ▶ 「なら安心みちネットプラン」に基づき、道路ネットワークの遮断を未然に防止するため、**道路防災対策を推進**します。
- ▶ 河川整備計画に基づき、**河川改修を推進**します。
- ▶ 平成31年度までに、**先行的保全施設**（避難所や要配慮者利用施設）**約50カ所の土砂災害対策に着手**します。（平成27年1月：34カ所）
- ▶ 平成31年度までに、**土砂災害特別警戒区域**について**約1万箇所調査**し、その**結果を公表**します。（平成26年度：86カ所）
- ▶ 平成32年度までに、**骨格幹線道路ネットワークの整備率が52%**となるよう、**整備を進め**ます。（平成28年3月：35%）
- ▶ 東西大動脈輸送ルート之二重系化による国土構造の強靱化や県内への大動脈形成を図る**リニア中央新幹線三重・奈良ルート**の**早期実現**を目指します。

### 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>道路防災対策の推進</b>	対策の推進			
<b>治水対策の推進</b>				
河川改修の整備推進	河川改修やPDCAサイクルによるマネジメント			
浸水常襲地域における減災対策の推進	対策の推進			
雨量・水位・流量情報のマネジメント	観測所の増設、データの蓄積・分析・提供			
<b>31 主要プロジェクト 大和川流域の力を結集した洪水対策</b>				
総合治水対策の推進	対策の推進			
河川改修の整備推進	河川改修やPDCAサイクルによるマネジメント			
内水対策の推進	対策の推進			
流域対策の推進	上下流域市町村との連携・情報共有、協議会の開催			
直轄遊水地の整備促進	事業の円滑化支援			
<b>土砂災害対策の推進</b>				
先行的保全施設への土砂災害対策の推進	対策の推進 次期計画の策定			
土砂災害警戒区域等の指定推進	特別警戒区域の指定推進			
土砂災害に対する情報提供の推進	ハザードマップやインターネット等を通じた住民への情報提供			
大規模土砂災害の監視・警戒・避難のシステムづくり	監視・警戒・避難のシステムづくりの推進			

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>骨格幹線道路ネットワークの形成(再掲)</b>	整備の推進			
<b>安全・安心を支える道路整備の推進</b>				
紀伊半島アンカールート等の災害に強い道路整備の推進	国道168号「五條新宮道路」及び国道169号の整備推進 ● 国道169号伯耆峠道路 新規事業化(直轄権限代行) ● 国道168号辻堂バイパスの供用			
暮らしを支える交通安全対策の推進	対策の推進			
<b>30 主要プロジェクト アセットマネジメントの推進</b>				
道路施設の老朽化対策の推進	橋りょう長寿命化対策の推進 トンネル等大型構造物の長寿命化対策の推進			
河川管理施設の老朽化対策の推進	河川管理施設長寿命化対策の推進 県管理ダム・長寿命化対策の推進			
砂防施設の老朽化対策の推進	砂防施設長寿命化計画の策定 砂防施設長寿命化対策の推進			
下水道施設の老朽化対策の推進	下水道施設長寿命化対策の推進			
公園施設の老朽化対策の推進	公園長寿命化対策の推進			
<b>リニア中央新幹線の建設促進(再掲)</b>				
	[奈良市附近]駅位置の早期確定及び二重・奈良ルートの早期実現に向けた要望活動 地元自治体がJR東海から求められる協力事項の先行検討			

効率的・効果的な基盤整備



橋りょう点検(十津川村)



河川監視カメラ(大和高田市)

## これまでの成果

★ 一般国道309号丹生バイパスを供用しました。(平成28年8月)

● 老朽化した社会資本の維持管理・更新を行うため、点検計画に基づき県管理橋りょう508橋の定期点検を実施しました。

● 近鉄奈良駅とJR王寺駅の電子案内板(デジタルサイネージ)での河川情報(河川映像・水位状況)の放映を開始しました。(平成28年8月)

● 奈良県公共交通条例に基づき、県による公共交通政策のマスタープランとなる奈良県公共交通基本計画を策定しました。(平成28年3月)

● 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域全体を見渡した総合的な交通ネットワークの形成を目指す奈良県地域公共交通網形成計画を策定しました。(平成28年3月)

● 奈良県通学路安全対策推進会議を開催し、各市町村の通学路合同点検結果・対策状況を県のホームページで公表することにより情報共有を推進し、対策の効果検証を行い、改善・充実を図るPDCAサイクルを行うことを確認しました。(平成28年6月)

## 主な指標の動き

### ●よくなっている指標

※人口10万人当たり交通事故発生件数

569.6件  
(平成18年 全国10位)



372.0件  
(平成27年 全国23位)

全国順位は低下しているものの、安全対策等の実施により、発生件数は大幅に減少しています。

汚水処理人口普及率

80.6%  
(平成18年度 全国18位)



87.7%  
(平成27年度 全国19位)

全国順位はわずかに下がったものの、市町村や県の積極的な下水道整備により、汚水処理人口普及率は着実に増加しています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。